別記様式第11の3(第16条、第20条関係)

年　　月　　日

　夷隅郡市広域市町村圏事務組合

　消　防　長　　　　　　　　　　様

住　　所

申告者　職業(職)　　　　　　電話

氏　　名

車両・船舶・航空機・その他り災申告書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 | り災年月日 | 年　　月　　日 | り災物件と申告者の関係 | 所有者・占有者・管理者 |
| り災場所 | 　 |
| ２　　　車　　両 | 運転者氏名 | 　 | 運転者住所 | 　 |
| 用途別 | 　 | 購入年月 | 　 |
| 車種名 | 　 | 購入金額 | 　 |
| 車両番号 | 　 | 年式 | 　 |
| 焼けた箇所 | 消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所 | その他 |
| 　 | 　 | 　 |
| ３　　船 舶 ・ 航 空 機 | 船長・機長名 | 　 | 船名・機名 | 　 |
| 用途・機種 | 　 | 就航年月 | 　 |
| トン数・最大離陸重量 | 　 | 購入金額 | 　 |
| 焼けた箇所 | 消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所 | その他 |
| 　 | 　 | 　 |
| ４ 　積 載 物 | 焼けた箇所 | 消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所 | その他 |
| 　 | 　 | 　 |
| ５ 　そ の 他 | 焼けた箇所 | 消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所 | その他 |
| 　 | 　 | 　 |
| 6 | 火災保険の契約 |
| 契約会社名 | 契約年月 | 保険金額(万円) |
| 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 |

　※　記入に際しては、下記の事項を必ずお読みください。

　　　車両・船舶・航空機・その他り災申告書記載要領

(1の欄)

1　り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

2　り災した場所の欄は、車両などが火災になった場所を記入してください。

(各欄共通)

1　焼けた箇所とは、火災により燃えた、又は熱により破壊された箇所をいいます。

2　その他とは、煙によって汚れた、搬出等により壊れた箇所をいいます。

(2の欄)

　1　運転者氏名、運転者住所の欄には、申告者と異なる場合にのみ記入してください。

　2　用途別の欄には、小型乗用車、貨物車、貨物乗用車、タクシー、乗合バス、自動二輪車、機関車、客車などの別を記入してください。

　3　車種名の欄には、車両会社名、車種名、排気量等を記入してください。

　4　車両番号の欄は、陸運局に届け出ている車両登録番号(ナンバー)などを記入してください。

(3の欄)

　1　用途・機種の欄には、漁船、客船、貨物船、旅客機、練習機などの別を記入してください。

(4の欄)

　積載物の欄には、損害を受けた物の品名と数量、購入金額等を記入してください。

(5の欄)

　その他の欄には、上記以外の焼損物について具体的に記入してください。

　　　　例)　塀、看板、物干し、庭木等

(6の欄)

　　　1　火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。

　　　2　保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備考

　　　1　この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。提出をしない場合又は虚偽の報告をした場合は、消防法第44条によって処罰されることがあります。

　　　2　この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。

　　　3　申告者の職業は、具体的に記入してください。

　　　　例)　小学校教諭、パン屋、花屋、トラック運転手、修理工、漁師のように

　　　4　あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。

　　　5　火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。

　　　6　この申告書でわからないことがありましたら、下記までご連絡下さい。

夷隅郡市広域市町村圏事務組合

消防本部　　予防課　　予防係

電話　0470(80)0132